

お手伝いのススメ

教頭 神部 守

本校は今年度、秋田県教育委員会が行う「特別支援学校就労・職場定着促進事業」の県央地区の担当校になっています。これまで、2回（7月、11月）会議を行いました。この事業のねらいは、次の二つです。

- ① 卒業後の職場定着の促進（離職を減らす）
- ② 中学部（中学校）段階からの職業教育の充実

①については、これまでも本事業に限らず取り組んできていますが、②は昨年度からねらいとして掲げています。会議では、卒業生が就労している事業所の方や、中学校特別支援学級担任の先生にも参加していただき、将来の職場定着に向けた早期からの職業教育の在り方について協議を行いました。

「早期からの職業教育（または進路指導）」という言葉は、以前から関係者の間では幾度となく言われてきたことです。「進路指導は小学部から」などとも言われます。しかし、「具体的に何から始めたらいいの？」と思われる方が多いのではないのでしょうか。

まずは情報収集だと思います。お子さんの将来を想像するためには、様々な情報が必要です。見学をしたり、先輩保護者さんの話を聞いたりする中で、今後取り組むべきことが明らかになってくるはずですよ。

もう一つは、今回表題にした「お手伝い」です。「今さら何を」と思われる方もいるかもしれませんが、あらためてお手伝いの効能(?)について考えてみます。

メリットその1：我慢する力がつく

子どもたちは、「ずっとテレビを見たい」「ずっとゲームをしたい」など、楽しいことを続けたいものです。でもお手伝いがあると、ちょっとの間それを我慢しなければなりません。「遊びたい」という気持ちを少し我慢して、「お手伝いをしよう」と思うこと。この気持ちに折り合いをつける力が、将来必要となる働く力の大事な「根」の一つになります。

メリットその2：仕事の基本は家庭にある

障がい者就業・雇用支援センターの理事長さんが言われた言葉です。「テーブルの角まできちんと拭く」、「水を出しっぱなしにして食器洗いをしない」、「角を合わせて洗濯物を畳む」など、お手伝いを通して「（きちんとした）仕事の仕方」を身に付けることができます。

メリットその3：家族の一員としての「居場所」につながる

お手伝いしてもらおうと、お母さんや家族の誰かが助かりますよね？ 子どもたちは、「やってくれて助かったよ」「ありがとう」と言ってもらうことで、「家族の一員」としての「居場所」を感じ、「自己有能感」を感じることができます。決して「やって当たり前」と思っはけません。必ず「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてください。

はじめは、カーテンの開け閉めや箸並べなど、簡単なことでいいと思います。お子さんが今できることの中から、一つでいいので毎日できることを決めて取り組んでみてください。すでに取り組んでいる御家庭や、中学生や高校生になっている場合は、「家族の一員として取り組む仕事」として、話し合っで決めるとよいでしょう。

明日から冬休み。家で過ごす時間が多くなる今こそチャンスです。



秋田県特別支援学校職業教育フェア（県央地区）

12月8日（水）、天王みどり学園にて県央地区職業教育フェアが開催されました。一般企業やハローワーク等に地域の特別支援学校の生徒の職業能力や職業教育の取組に付いての理解を深めてもらい、その雇用の促進と職業教育の充実を図ることを目的に、毎年開催されています。

第10回となる技能競技会「錬成会」には、「喫茶サービス」と「ビルクリーニング」の2部門があり、本校からは横山裕也さん（高2）、三浦愛結美さん（高1）が「ビルクリーニング競技」に出場しました。広い会場や一般企業等、多くの方が参観者する中で緊張しながらも、横山裕也さんが見事銀賞を受賞しました。これまでの練習の成果を発揮し、競技を終えた2人



進路希望調査よりQ&A ～一部を紹介～

進路希望調査（その他の項目）では、様々な御相談や御質問を寄せていただき、ありがとうございます。現在、集計作業中ですが、まとまった内容から一問一答でお答えします。

Q 1：卒業後、〇〇（お子さんの名前）の今後のために、家庭で取り組んでいかなければいけないこと

A 1：一人できてほしいことやできるだろうと思われることをできるだけ見守ること（自立心を育てる）。
※表面の神部教頭先生の「お手伝いのススメ」も参考になります。

Q 2：何かあったときの相談する場所

A 2：由利本荘市→総合相談窓口（鶴舞会館）、障がい者基幹相談支援センター（生活支援センター）
にかほ市→福祉課（仁賀保庁舎）、障がい者基幹相談支援センター（さん・とらっぷ分場隣）

Q 3：グループホームについて知りたい（入所条件など）。

A 3：現在のグループホームの数については、進路の手引きにあるとおりです。今後、新設される予定もありますので、詳細が分かりましたら進路便りでお知らせします。また、入所条件等については、面談時に学級担任または学級担任を通して進路担当にお尋ねください。

Q 4：今後、就労継続支援A型の事業所は増えないのでしょうか。

A 4：由利本荘・にかほ地区においては、はっきりと増えると言える状況にはありません。運営の難しさもあるようです。

Q 5：グループホームや施設入所を都合により一旦退所し、状況が整い次第、再入所することは可能か？

A 5：退所している間に定員に達してしまうと、再入所は困難となりますので、再入所を考える際の状況次第と言えます。

Q 6：（将来）職場まで一人で行けるのかどうか不安

A 6：在学中に学校への登校を一人で行えるよう、練習する必要があります。公共の交通機関を乗り継ぎするなどの難しさがある場合、駅までは保護者が送迎し、駅から学校まで通えるようにするなど、段階的な練習が望ましいと思います。

*詳細までお伝えできていないところもあります。詳しくは、学級担任や学級担任を通して進路担当へ御相談ください。